

今回採択されたインセンティブ型ダイヤモンドリスポンスの概要

| | 応募者 (下線:代表者) | 実証事業概要 |
|---|---|--|
| 1 | <u>(株)エナリス</u> 東京電力(株) | BEMSにより多数の需要家の需要調整を行うエナリスとともに、需要家構内に設置された蓄電池も活用しながら、空調、照明の需要抑制による実証を実施 |
| 2 | <u>(株)グローバルエンジニアリング</u> 東光電気(株) 東京電力(株) | 需要家構内に設置したインテリジェントコントローラーを活用しながら、自家発、蓄電池、蓄熱槽を活用した需要抑制による実証を実施 |
| 3 | <u>双日(株)</u> シュナイダーエレクトリック(株) [Energy Pool(仏)] 東京電力(株) | 仏国の事業者であるEnergy Poolの欧州(フランス、ベルギー、英国)での実績から得た知見を活かし、産業需要家において、生産工程のエンジニアリング分析に基づく、各種生産設備の需要抑制による実証を実施 |
| 4 | <u>(株)東芝</u> 東京電力(株) | 東芝が参加している横浜スマートシティプロジェクトで導入されているシステムを通じて、需要家構内に設置された自家発、蓄電池、蓄熱槽の需要抑制による実証を実施 |
| 5 | <u>(株)日立製作所</u> 東京瓦斯(株) ダイキン工業(株) 東京電力(株) | 需要家構内のガスエンジン自家発設備の余力活用および空調熱源切替(電気式 ガス式)による東京瓦斯と、エアコン遠隔操作によるダイキン工業等の取組を、日立のシステムによって取りまとめて、需要抑制による実証を実施 |
| 6 | <u>丸紅(株)</u> [EnerNOC(米)] 東京電力(株) | 米国の事業者であるEnerNOCの計5カ国での実績から得た知見に基づき、製造業の生産工場などの大型の商工業・製造業の需要家において、様々な電力使用プロセスを管理する事による実証を実施 |

代表者の五十音順で記載、[]内の企業は実証事業の委託先企業